



第15号

ちゅうおう ライブラリー インフォメーション



中央市立図書館 平成27年 2月 発行

「すきとほつたほんとうのたべものになることを・・・。」

中央市教育委員長 清水由美

読書が好きな人なら勿論、そうでない人でも「宮澤賢治」という名前を見、聞きした事はあると思います。

賢治の著書は数多くありますが、時に“童話”と呼ばれる作品は「蜘蛛となめくちと狸」からはじまり「気のいい火山弾」や「グスコーブドリの伝説」「狼森と策森、盗森」、「鹿踊りのはじまり」等々、百作以上あります。私はどの作品も大好きですが、中でも群を抜いて心奪われたものに“イーハトーブ童話「注文の多い料理店・序」”があります。たった十五行の文章ですが賢治童話の根底にある賢治自身の“核”みたいなものをその中に読み取れますし、数多くの賢治童話は、この十五行の中に集約されている様に思えるのです。

今の時代だからこそ、賢治の想いが一杯詰まった十五行のメッセージをお伝えし、「本を読む」事で心の畑を耕して、そのふかふかな土に色々な種を蒔いて欲しいと思います。



新入生ブックプレゼントセレモニーの様子

【目次】

- ★「すきとほつたほんとうのたべものになることを・・・。」
- ★ こんな時には こんな本！
- ★ 中央市内の学校図書館への本の貸出
- ★ 図書館の運営を支えるボランティア活動紹介

出典 「イーハトーブ童話集 注文の多い料理店」より（ものがたり文化の会）

大正十二年十二月二十日

宮澤 賢治

序

わたしたちは、氷砂糖をほしくくらぬもないでも、きれいにすきとほつた風をたべ、桃いろのつくし
い朝の日光をのむことができます。

またわたくしは、はたけや森の中で、ひどいぼろぼろのきものが、いちばんすばらしいびろうとや羅紗や、
害右いりのきものに、かはつてゐるのをたひたひ見ました。

わたくしは、さういふきれいなたべものやきものをすきです。

これらのわたくしのおはなしは、みんな林や野はらや鉄道線やらで、虹や月あかりからもらつてきたの
です。

ほんたうに、かしはやしの言い方を、ひとりで通りかかつたり、十一月の山の風のなかに、さへな
がら立つたりしますと、もつとつてもこんな気がしてしかたないのです。ほんたうにもう、どうしてもこ
んなことがあるやうでしかたないといふことを、わたくしはそのとほり書いたまです。

ですから、これらのなかには、あなたのためになるともあるでせうし、ただそれつきのところもあ
るでせうが、わたくしには、そのみわけがよくきません。なんのことだか、わけのわからないところもあ
るでせうが、そんなところは、わたくしにもまた、わけがわからないのです。

けれども、わたくしは、これらのちひさなものがたりの變りかたが、おしまひ、あなたのすきとほつたほ
んたうのたべものになることを、どんなにねがふかわかりません。

合成洗剤を使いたくないときに

『ナチュラル洗剤でちょこっとピカピカ掃除』

世界文化社[監] 世界文化社

合成洗剤。汚れは落ちるけれど、使いたくない時や場所もあります。自然派洗剤を使ったらけれど、洗浄力が物足りなくて合成洗剤に戻ってしまった方。最近注目の、洗濯に「セスキ炭酸ソーダ」漂泊力の高い「過酸化ナトリウム」を加えて、ナチュラル洗剤でエコなお掃除をしてみませんか？



POPを書きたいときに

『手書きPOPの技とコツ』

彩工房[監] 秀和システム

さまざまなお店で見かけるPOP。つい商品を手にしてしまうような、目をひく素敵なPOPってありますよね。一見難しそうだけど、心配無用です。手書き作成のセンスのいい気持ちの伝わるヒント満載の本です。

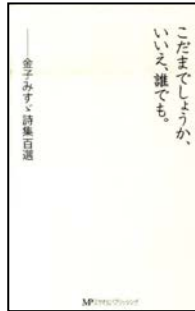


平凡で毎日がつまらないと感じるとき

『こたまでしょうか、いいえ誰でも —金子みすゞ詩集百選—』

金子みすゞ[著] ミヤオビパブリッシング

周りのものへのやさしさであふれている金子みすゞの詩集です。日常のささいな出来事、情景、目に映るものきこえるものなど様々なものの存在がとても愛おしいものに感じてきて、はっと気付かされる言葉や思いが出てきます。つまらないと感じるこの瞬間を、金子みすゞならどんな風に切り取るだろうかと考えずにはられません。



大切な人を失ったときに

『わすれられないおくりもの』

スーザン・バーレイ[さく・え] 小川仁央[やく] 評論社

大切な人を失った時、悲しみの中からどう乗りこえたいのか。乗り越えた先に心に生まれるものは...。友達同士の生き方、心や、技や教えを伝えあっていく事の大切さ、そして人としての生き方を教えてくれる一冊です。



はじめてのアウトドアを楽しみたいときに

『はじめての野外活動 生きる知恵を身につける』

JTB パブリッシング[監] JTB パブリッシング

外に出て、思いっきり遊んで、楽しんでみませんか？自然の力をかりて体を動かすことは、心も体もまるごと元気になれて、良いことづくめです。初心者でも楽しめる、準備からやり方までを親切丁寧に解説しています。災害時など、いざというときに役立つ知識も載っているので、安心です。



夢をあきらめないで！そんなメッセージを届けたいときに

『左手一本のシュート』

島沢優子[著] 小学館

中央市出身、県トップのバスケット選手・田中正幸君 15 歳を襲った脳動静脈奇形による脳出血、右半身麻痺。「再び試合に」の強い夢で、利き手転換、左手 1 本でシュートを決めた！涙の実録です。夢をあきらめない時間が人を強くし、支えあうことで互いの夢がかなうことを実感できる一冊です。



ちょっと粋なおもてなしをしたいときに

『おうちで楽しむにほんのもてなし』

広田千悦子[著] 技術評論社

日本ならではのおもてなし、皆さんで楽しみませんか？日本人なら知っておきたい料理の盛り付け方や庭のお手入れ、訪問時に喜ばれる手みやげのヒントまで！かわいいイラスト付きで分かりやすく紹介してくれます。日々の暮らしの中に、ひそんでいる、「和のこころ」に気付かせてくれます。



こんな時には こんな本！

中央市立図書館職員が選んだ
ちょっとした時に役立つ本



人生につまずいたときに

『鈍感力』

渡辺淳一[著] 集英社

健康であるためにもっとも大切なことは、いつも全身の血がさらさら流れることです。そのためには、あまりよくよせず、他人に嫌なことを言われてもすぐに忘れる。このいい意味での鈍感さが、血の流れをスムーズに保つ要因になるのです。いい意味での鈍感力を、身につけてみませんか。



身の回りの整理整頓がうまくいかないときに

『片づけと整理のグッドアイデア集』

柑成美緒[著] WAVE 出版

身の回りの整理整頓ができないあなた、長期間にわたり続けることが出来るアイデアが、もりだくさんあります。毎日過ごす環境がきれいになれば、自ずと気分も良くなってくるものです。



やさしい気持ちになりたいときに

『私は虫である：熊田千佳慕の言葉』

熊田千佳慕[著] 求龍堂

特別なものではなく、身の回りにあるものとことん見つめ、ひと筆ひと筆丁寧に描いた画家の言葉の数々から、自然を慈しむ姿勢がみてとれます。「生活の中に豊かな感性を持つことが本当のゆとりである。」との言葉どおり、豊かな心が伝わる本です。



疲れているときに

『休む技術』

西多昌規[著] 大和書房

あなたは休めていますか？休んだのに休んだ気がしない、疲れが取れない...なんてことはありませんか？当てはまる人は、上手に休めていない証拠です。この本で休むコツを身につけ、心も体もすっきりさせましょう。



子どもに今日はどういう日？と聞かれたときに

『親子で楽しむ365日 暮らしの行事』

早未恵理[監] 大泉書店

日本に受継がれる四季折々の年中行事。好奇心のかたまりである子どもたちに、「なんで？どうして？」と聞かれた時に使える一冊です。「へえ？そうなんだ！」と、ページをめくりながら由来を知って楽しんでください。



癒されたいなぁと思ったときに

『世界の美しい透明な生きもの』

澤井 聖一[著] エクスナレッジ

ガラスに変身する一瞬をとらえた花びら、深海で踊る光のクラゲ、まるで宝石をカラダ中にちりばめたヤリイカの稚イカ...。世界中から集めた透明な生き物の生態写真集です。自然の神秘の美しさにふれ、圧倒され癒されてください。



夫に先立たれて寂しそうにしているときに

『91歳。今日を悔いなく幸せに』

吉沢久子[著] 海竜堂

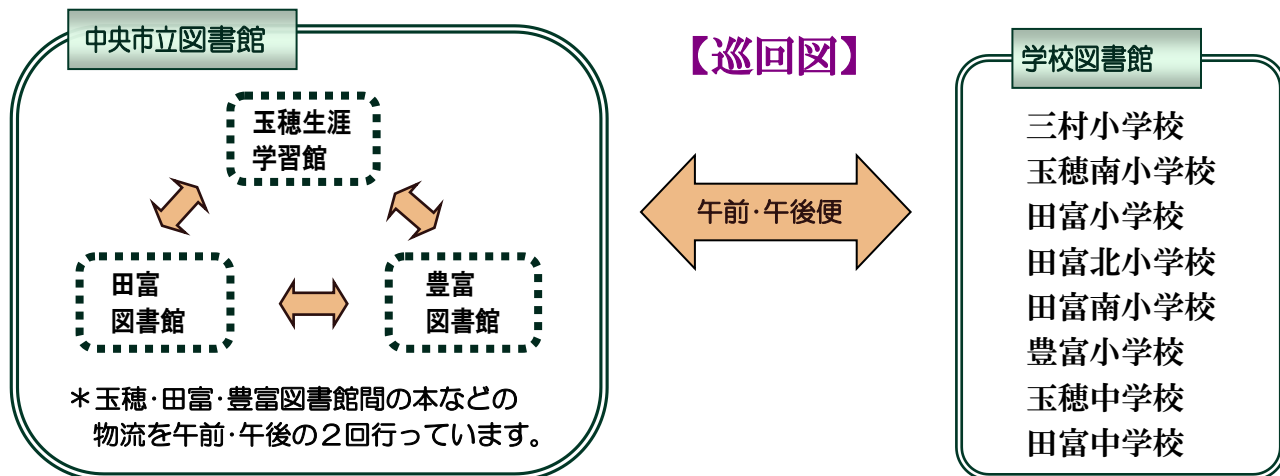
義理の母は、夫を亡くした直後、「寂しい」とか「辛い」などと口にしては、沈んだ表情をしていました。息子である夫も私も母を元気付けてあげることができず、途方に暮れていたところ、この本の存在を知り母に渡したら、著者の生き方にいたく感銘し、普段の日常を取り戻すきっかけとなりました。





中央市内の学校図書館への本の貸出

市内の小中学校では、授業や調べ学習で多数の本を必要とする場合、ネットワークシステムを利用して、市立図書館の本を予約します。本は物流を使って各学校に届けられ、授業などで活用されています。



☆学校図書館の司書より感想を寄せていただきました。

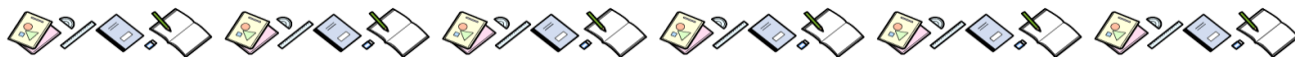
本校では日頃より物流担当の方には大変お世話になっています。雨の日も風の日も暑い日も寒い日も……。子ども達も担当の方を見かると「何の本？」と声をかけ、大変楽しみにしています。他の市町村にはない物流サービスに心から感謝しています。

(田富小・青柳司書)

本校は蔵書が8,600冊と少ないので、調べ学習の時に市立図書館3館から頻繁に借りています。リクエストすると迅速に用意して物流担当の方が直接学校まで届けてくださるので、田富や玉穂から遠い豊富小ではとても助かります。

この物流システムには日々感謝しています。

(豊富小・大沼司書)



図書館の運営を支えるボランティアの活動紹介

「ひよこの会」の丸茂秀子さん

ひよこの会は田富図書館が開館した1995年に生まれた会です。今年で結成20年を迎えます。まだおむつも取れない小さな子ども連れのママたちが絵本の学習会やパネルシアター、大型紙芝居などの作品に取り組んできました。

田富図書館で行われる毎週第3火曜日のおはなし会では、赤ちゃんとママのために絵本の読み聞かせやわらわらうたを唄って楽しい時間を過ごします。

図書館まつり・クリスマス会にも参加し、図書館の催し物のお手伝いもさせていただいています。また、幼稚園や保育園、小学校などにもおはなし会に出かけています。

ささやかな活動ですが、子どもたちが幸せな子ども時代を過ごせるように、本との素晴らしい出会いができる手助けをしています。

まだ小さな子どもたちは自分で本を選ぶことはできません。寄り添う大人が良書を差し出してあげることはとても大切なことです。小さな歩みのささやかな活動ですが、これからもゆるやかに、長く活動を続けていきたいと思っています。



《あとがき》

さまざまなジャンルの本を取り揃えて、地域の皆様のお役に立つ本の提供ができますよう心がけていきます。

編集・発行：中央市立図書館 第15号 平成27年2月1日発行

玉穂生涯学習館 TEL055-230-7300 FAX055-230-7301

田富図書館 TEL055-274-3311 FAX055-274-3313

豊富図書館(分館) TEL055-269-4011 FAX055-269-4012

皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。